

社会保障審議会 介護保険部会(第59回)	参考資料2
平成28年6月3日	

# 保険者の業務簡素化 (要介護認定等) (参考資料)

# 介護保険制度における要介護認定制度について

## 趣旨

- 介護保険制度では、寝たきりや認知症等で常時介護を必要とする状態（要介護状態）になった場合や、家事や身支度等の日常生活に支援が必要であり、特に介護予防サービスが効果的な状態（要支援状態）になった場合に、介護の必要度合いに応じた介護サービスを受けることができる。
- この要介護状態や要支援状態にあるかどうかの程度判定を行うのが要介護認定（要支援認定を含む。以下同じ。）であり、介護の必要量を全国一律の基準に基づき、客観的に判定する仕組み。

## 要介護認定の流れ

- 要介護認定は、まず、市町村の認定調査員による心身の状況調査（認定調査）及び主治医意見書に基づくコンピュータ判定を行う。（一次判定）
- 次に保健・医療・福祉の学識経験者により構成される介護認定審査会により、一次判定結果、主治医意見書等に基づき審査判定を行う。（二次判定）
- この結果に基づき、市町村が申請者についての要介護認定を行う。

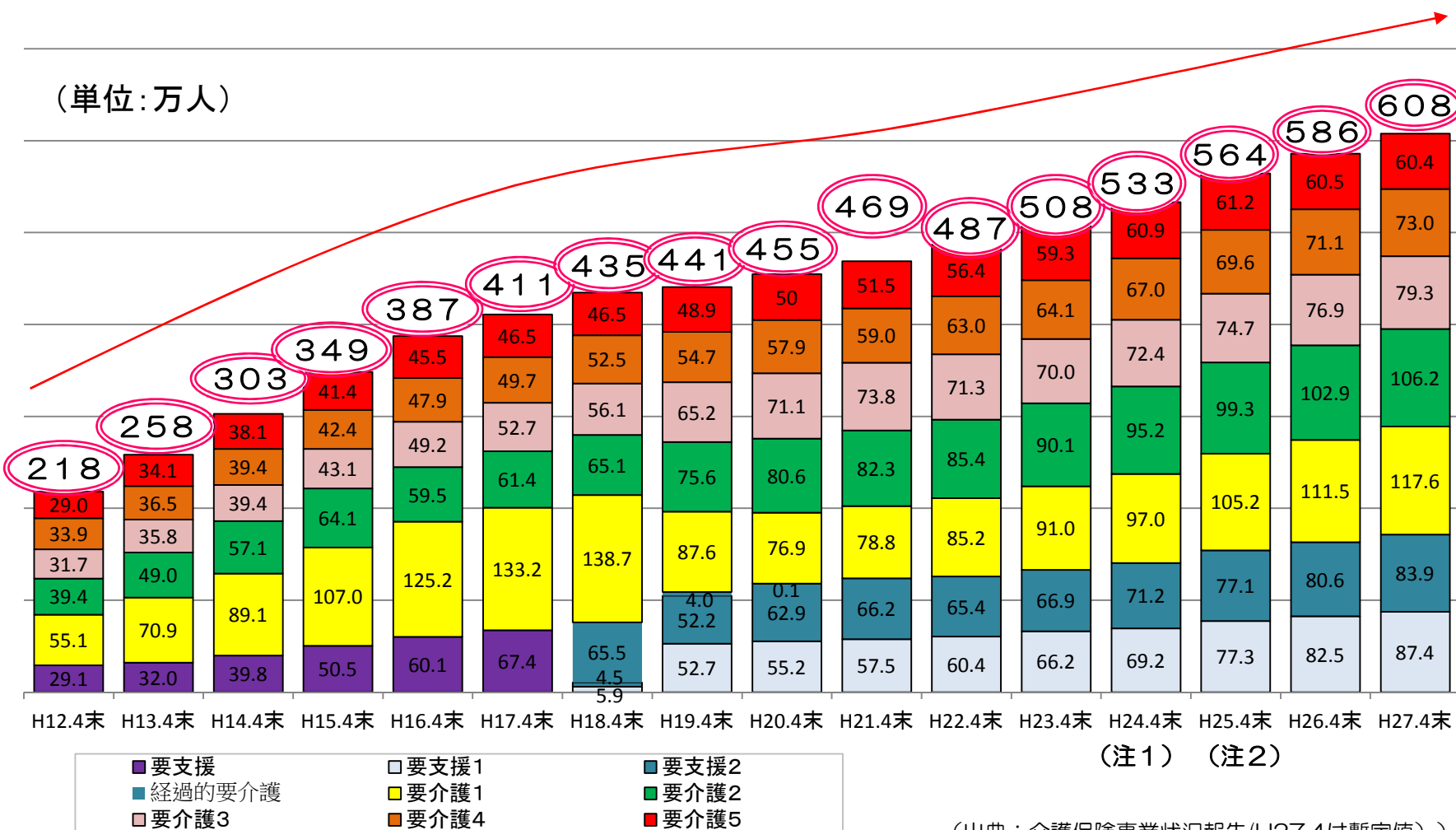
# 要介護認定の申請件数

- ・認定者数 607.7万人(平成27年4月)  
(介護保険事業状況報告(暫定値))
- ・認定率 17.9%  
※認定者数/第1号被保険者数  
(平成27年4月介護保険事業状況報告(暫定値))
- ・新規申請件数 186.7万件(平成26年度)
- ・更新申請件数 340.7万件(平成26年度)
- ・区分変更申請件数 41.6万件(平成26年度)

※介護保険総合データベースへの報告より(平成28年5月15日時点)  
(ただし、全ての市町村等が送信しているわけではない)

# 要介護度別認定者数の推移

要介護（要支援）の認定者数は、平成27年4月現在608万人で、この15年間で約2.79倍に。このうち軽度の認定者数の増が大きい。また、近年、増加のペースが再び拡大。



(出典：介護保険事業状況報告(H27.4は暫定値))

注1) 陸前高田市、大槌町、女川町、桑折町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町は含まれていない。

注2) 楡葉町、富岡町、大熊町は含まれていない。

# 自治体の要介護認定に関する状況

## (1) 事例1 神戸市の状況

### ① 概況

人口	1, 547, 703人
高齢化率	26. 4%
認定者数	80, 449人※

(平成27年12月末時点 ※部は平成27年3月時点)

### ② 認定調査員数

認定調査員数	740人
--------	------

(平成27年4月1日時点)

### ③ 介護認定審査会の状況

合議体数	97 合議体 (9区・1出張所)
委員数	569名
審査件数	26~40件/回 (平均 39件)
開催回数	2, 231回
審査判定件数	83, 392件

(平成27年度)

# 自治体の要介護認定に関する状況

## (2) 事例2 名古屋市の状況

### ① 概況

人口	2,298,075人
高齢化率	23.9%
認定者数	101,817人

(平成28年1月1日現在)

### ② 認定調査員数

認定調査員数	約4,300人
--------	---------

(平成28年3月31日時点)

### ③ 介護認定審査会の状況

合議体数	106 合議体 (16区)
委員数	630人
審査件数	25~45件/回 (平均 38.3件)
開催回数	2,550回
審査判定件数	97,733件

(平成27年度)